

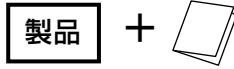
# 取扱説明書

# PROGAUGE

STEPPING DRIVE  
TACHO METER **052**

この度は PIVOT 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
この取扱説明書はよくお読みいただき、ご理解のうえで装着・使用してください。  
なお、本書は大切に保管してください。

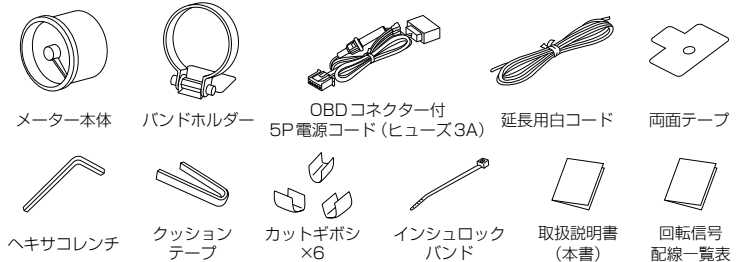
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



## 目次

セット内容・警告・注意 ..... 1  
 特長 ..... 1  
 各部の名称とはたらき ..... 1  
 配線接続方法 ..... 2  
 気筒数設定接続 ..... 3  
 製品の固定 ..... 4  
 基本動作 ..... 4  
 故障かな?と思ったら ..... 4

## 内容物をご確認ください



<p><b>▲ 警告</b></p> <p>右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p>	<p>●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火などで人体への危険があります。</p>	<p>●バッテリーの⊖側を外して作業する ショートなどによる火災、破損事故の恐れがあります。</p>	<p>●製品固定や配線処理は確実に行う 製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。</p>
	<p>●コードの被ふくを傷つけない シートレール、ドアなどでコードの被ふくが傷付くと、ショート、接触不良などによる火災の危険があります。</p>	<p>●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。</p>	

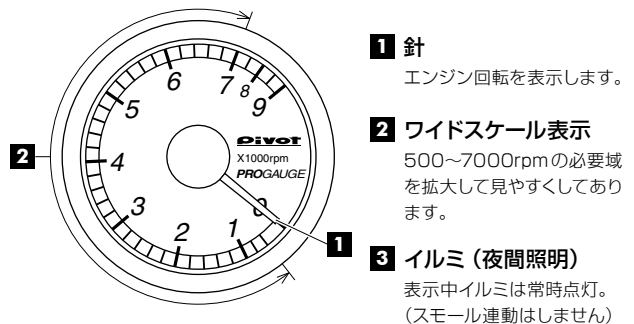
<p><b>▲ 注意</b></p> <p>右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p>	<p>●エレクトロタップは使用しない 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線などが突き出ていないかをお確かめください。</p>	<p>●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。</p>	<p>●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない 故障の原因となります。</p>
	<p>●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。</p>	<p>●薬品類は使用しない アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。</p>	<p>●配線に不安がある場合は専門ショップへ依頼する 製品装着には専門知識を必要とします。不安な方は専門ショップなどにご依頼ください。</p>

## 特長

PT5-Wは、トヨタ、ダイハツ、MINI (BMW) の一部は故障診断コネクタヘカブラーオンで、その他の車種は直接配線を行うことで取付が可能な、小型タコメーターです。

<b>配線不要</b> カブラーオン取付	一部車種は、故障診断コネクタに差し込むだけの簡単配線。
<b>1、3、4気筒</b> 幅広い対応	4サイクル 1、3、4気筒車に対応可能。
<b>1Body</b> 別コントローラー不要	メーターは一体構造で両面テープで簡単に取り付け。(別装着品は不要。)
<b>穴開け不要</b>	ダッシュボードなどには、両面テープで固定可能。
<b>見やすいLED透過照明</b>	ムラのないLEDによる透過照明。

## 各部の名称とはたらき



- 1 針**  
エンジン回転を表示します。
- 2 ワイドスケール表示**  
500~700rpmの必要域を拡大して見やすくしてあります。
- 3 イルミ (夜間照明)**  
表示中イルミは常時点灯。(スモール運動はしません)

### オープニングデモ

オープニングデモのとき、針はマイナス方向に小刻みに複数回動きます。その後最大値を指し、回転表示に移行します。

# 配線接続方法

**準備**

作業を始める前に、取り付ける車種に対応した取付方法をご確認ください。

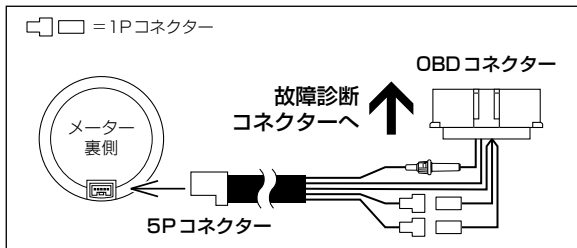
## 基本配線



基本配線後、車の気筒数に応じて「気筒数設定接続」(⇒3 ページ)を行ってください。

### ■トヨタ・ダイハツ・MINI(BMW)の場合

付属の「回転信号配線一覧表」で「カプラーオン取付覧」が●印の車種



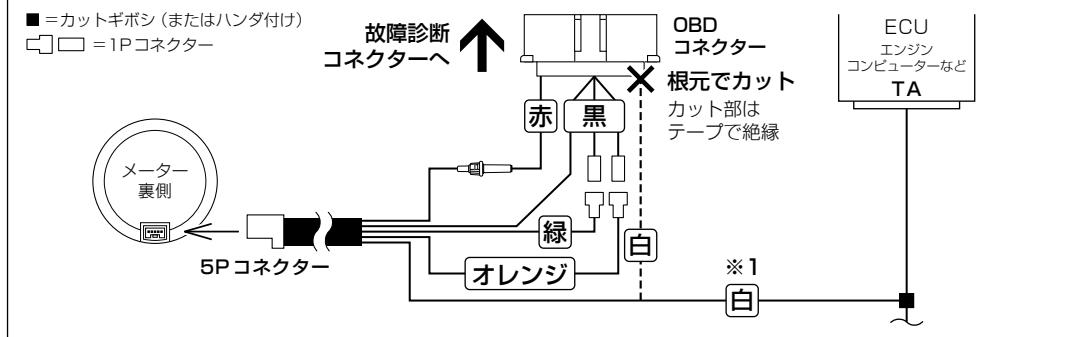
### 配線コード説明

コード色	接続場所	詳細
赤	IGN	キー ON で 12V がでる場所 (常時電源も可)
黒	GND	アースが確実に取れるネジなど
白	TA	エンジン回転信号
オレンジ・緑		気筒設定用接続コード

### ■一般車(トヨタ・ダイハツ・MINI(BMW)以外)の場合

■=カットギボシ (またはハンダ付け)

□=1Pコネクタ

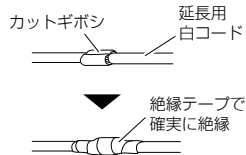


▶故障診断コネクタがない、または使わずに接続する ⇒ **配線方法 1** を参照

### ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

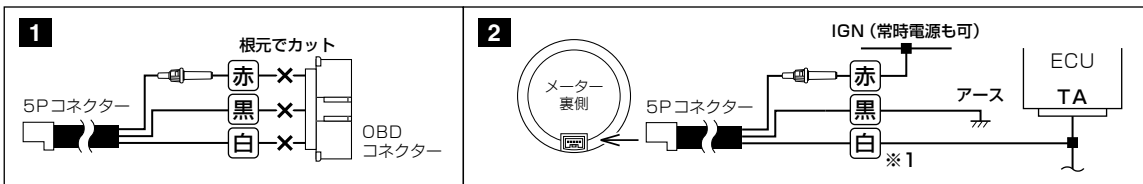
- ・両方接続しても正常に動作する
    - ▶そのまま使用可能。
  - ・動作しない、または不安定な動作をする
    - ▶ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。
- ⇒ **配線方法 2** を参照

※1 白コードの長さが足りない場合は、付属の延長用白コードで延長してご使用ください。  
⇒3 ページ【参考 1】  
カットギボシの使い方



## 配線方法 1 故障診断コネクタがない、または使わない場合

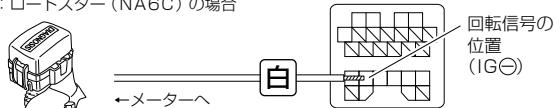
故障診断コネクタを使用せず配線を直接行う場合は、OBD コネクタの根元で各コードをカットして配線してください。



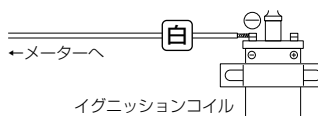
## 配線方法 2 回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

### ■ダイアグノシス (チェックコネクタ) からとる場合

例：ロードスター (NA6C) の場合



### ■イグニッションコイルからとる場合




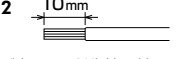
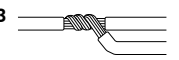
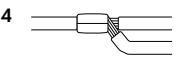

## ❗ OBD製品の併用について

PT5-Wを3-driveシリーズなどのPIVOT製OBD装着製品と併用する場合は、別売のOBD2配線キット(OBD-EH ¥3,200・税別)を使用すると簡単に取り付けられます。

製品の併用についての詳細は、こちらをご覧ください。 <http://pivotjp.com/obd/>

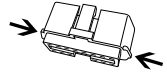
※PT5-Wと上記の製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

### 【参考1】カットギボシの使い方

1  接続するコードの被ふくをむく。	2  製品コード先端の被ふくをむく。
3  両方の芯線を絡める。	4  確実にかしめる。
5  ビニールテープで絶縁する。	※かしめる際は圧着ベンチを使用するか、ベンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

### 【参考2】OBDコネクターの取扱時の注意点

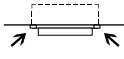
差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。



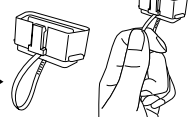
**⚠ 注意**  
コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

**凸部を握れない場合**

車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。



その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。



## 気筒数設定接続

**準備** 気筒数と信号レベルは、付属の「回転信号一覧表」をご確認ください。

クルマごとの気筒数に応じて次のとおり接続し、OBDコネクタを車両の故障診断コネクタに差し込みます。

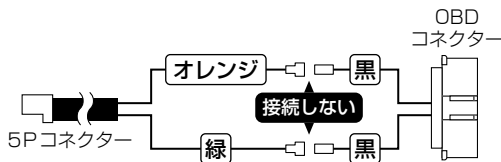
気筒数設定で使用するのは、OBDコネクタからの**黒**コード2本(ボディーアース)と、メーター本体からの**オレンジ**・**緑**コードの計4本のコードです。



気筒数設定後は、必ずOBDコネクタまたは5Pコネクタを一度抜き、再度差し直してください。この作業をしないと、設定が変更されません。

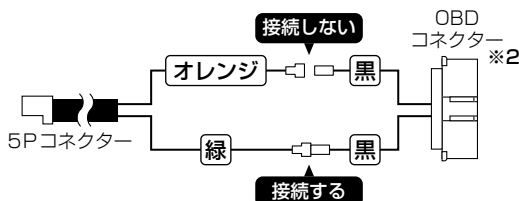
### 4気筒

1Pコネクタを接続しない。

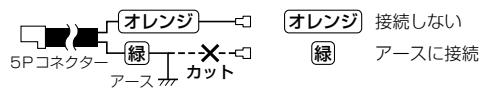


### 3気筒

**緑**コードの1Pコネクタのみ接続する。

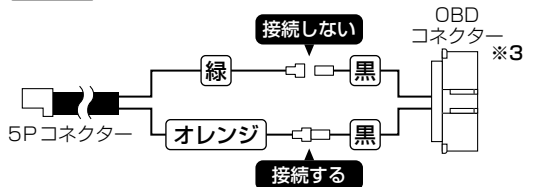


※2 OBDコネクタを使用しない場合の接続

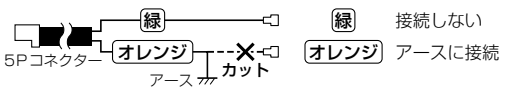


### 1気筒：信号レベル2

**オレンジ**コードの1Pコネクタのみ接続する。

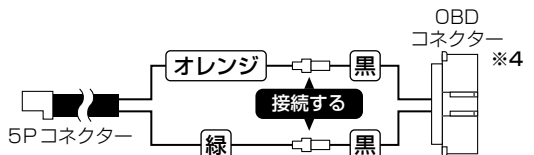


※3 OBDコネクタを使用しない場合の接続

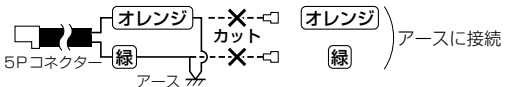


### 1気筒：信号レベル1

**オレンジ**・**緑**コードの1Pコネクタを両方とも接続する。



※4 OBDコネクタを使用しない場合の接続



□ □ = 1Pコネクタ

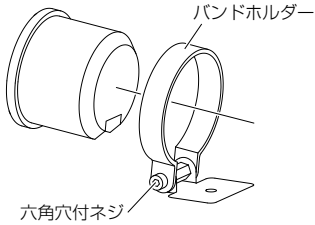
# 製品の固定

車内の見やすい場所へ取り付けます。

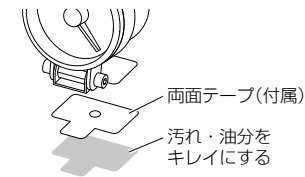
## A. バンドホルダーを使用する

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

**1** ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。

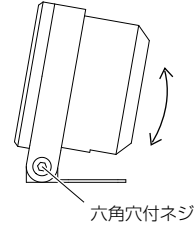


**2** 両面テープで固定する。(貼り付け部の油分や汚れは、キレイにする。)

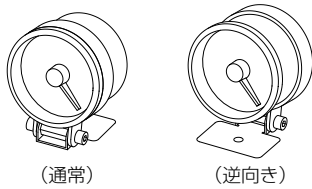


※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

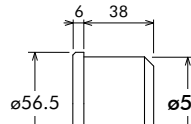
**3** 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。



※ホルダーは、逆向きでも使用できます。

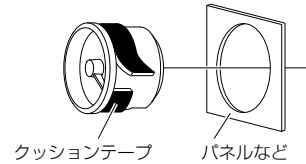


メーター寸法  
(mm)



## B. パネルなどに埋め込む

- メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 直径52mmの穴に圧入状態で差し込む。



## 基本動作

エンジン始動から停止後までのメーターの基本的な動きです。

**1** キースイッチ ON  
(エンジン始動)



**2** オープニングデモ  
回転信号配線が行われていないと、動作しません。



**3** 現在の回転表示

**4** キースイッチ OFF  
(エンジン停止)



**5** メーター OFF

※特性上、針はOFF時の回転で止まり、0には戻りません。

## 故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
タコメーターが動作しない。 (オープニングデモを行わない。)	エンジンが始動していない。	エンジンを始動してください。
	5Pコネクターまたは OBD コネクターの接続不良。	各コネクターの接続状態をご確認ください。
	(赤、黒、白)コードの接続不良または接触不良。 (回転信号配線が行われていないと動作しません)	各コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。
	気筒数設定接続が間違っている。	3 ページ「気筒数設定接続」をご参照の上、確実に気筒数を合わせてください。
タコメーターの回転数が純正タコメーターと大きく違う。	気筒設定の誤り。	3 ページ「気筒数設定接続」をご参照の上、確実に気筒数を合わせてください。
エンジン停止中にメーターが動作する。	クルマ側のノイズ(ドアロックなど)で一時的に動作してしまう。	一時的な動きであれば支障はありませんが、気になる場合は OBD コネクターの(赤)コードをカットしIGN(キー ON で 12V)に接続してください。
キー OFF 時、針が 0 で止まらない。	ムーブメント上の特性で故障ではありません。	
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、各説明書に従って再設定してください。